



# ききみみずきん

平成25年春号 Vol.3

<発行・編集>喜多方市立図書館  
 指定管理者 株式会社 図書館流通センター  
 〒966-0822 喜多方市字柳原7503-1  
 TEL:0241-22-1855

● <https://tosyokan.city.kitakata.fukushima.jp/>

## 4月～6月の図書館スケジュール 平日9:30～19:00 土日祝日9:30～17:30

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

- ※ 休館日(※4月1日～5日までは特別図書整理期間のため休館いたします)
- おはなしドライブ(11:00～11:30)
- ちっちゃなおはなしかい(11:00～11:20)
- ユニットおりがみ教室(10:00～11:30)
- 生け花講座(10:30～11:30)

## ゴールデンウィークは童心にかえってみませんか？

### 【布の絵本展】

平成25年4月27日(土)～5月6日(月)  
 「布の絵本」とは、さまざまな手触りの布でつくったさわって楽しむ絵本です。ほんわか温かな気持ちになれる布の絵本。ぜひさわってお楽しみください。



全て手作りの作品です！

協力：埼玉県吉川市立図書館  
 (指定管理者 ㈱図書館流通センター)



## ユニットおりがみ教室レポート

毎月最後の土曜日は、ユニットおりがみに挑戦！  
 今年で4年目に突入した大人気の教室です。  
 最近では小学生の参加もあり、幅広い年齢層のみなさんと黙々と折っています。



講師は五十嵐智洋先生。  
 優しくゆっくり丁寧に教えて下さいます。初めての方も安心してご参加下さい。



開催日：毎月最終土曜日  
 10:00～11:30  
 会場：喜多方市立図書館2階  
 第2閲覧室  
 材料費：100円(当日お支払ください)

# 特集 喜多方の町と図書館の100年

喜多方の町に初めて図書館ができたのは、大正2年(1913年)の2月。  
当時の町長、原平蔵氏が私財を投じた私立図書館でした。  
その後喜多方町への移管、第二次世界大戦中の一時休館等、  
様々な曲折を経て、今年100年を迎えました。  
喜多方の町と共に歩んだ図書館の100年を振り返ってみたいと思います。

## 大正2年(1913)とはどんな年だったのか？

明治37年(1904)に郡山から喜多方まで伸びていた岩越鉄道(今の磐越西線)が、8月には野沢まで開通しました。大正元年の喜多方町の人口は9701人。まだ岩月や関柴、熊倉などの周りの村々と合併する前でした。当時の物価は、舶来ラクダのシャツ上下で80円。森永製菓から国内で初めて発売されたミルクキャラメルは80粒で40銭。「鯉のぼり」や「海」などの唱歌、「早春賦」や「城ヶ島の雨」が流行し、今でも活動している結核予防の民間団体、日本結核予防協会が設立されました。岩波書店の創業もこの年です。また東北大学が帝国大学として日本で初めて黒田チカラから女性の入学を認めました。11月には江戸幕府最後の将軍・徳川慶喜が77歳で亡くなります。翌、大正3年(1914)にはヨーロッパで第一次世界大戦が勃発します。

## 原平蔵氏とは？

安政6年(1859)～大正15年(1926)

自由民権家として国会開設請願運動に活躍し、三方道路の建設が持ち上がると反対運動の先頭に立ちました。郡長を告訴したために逮捕され、喜多方事件の発端となりました。

明治26年(1893)から大正6年(1917)、大正10年から同14年まで喜多方町長を務め、岩越鉄道の敷設、喜多方中学校をはじめとする各種学校や幼稚園の設立、図書館の建設など、現在の喜多方の基礎を築く事業を成し遂げた人物のひとりです。



原平蔵氏  
(出典:『図説喜多方の歴史』)

## 図書館設立の経緯

そもそもは明治33年(1900)、当時皇太子であった大正天皇のご成婚に際しての御慶事奉祝記念行事のひとつとして、図書館の設立が町会にはかられました。設立の基本金として毎年10円余を積み立てる事を可決しましたが、なかなか設立に至りませんでした。大正2年(1913)、当時の町長であった原平蔵氏が自らの蔵書と土地建物を提供し有志からの寄贈を併せて、2月に私立喜多方図書館として開館しました。大正12年(1923)には喜多方町に移管され、町立喜多方通俗図書館と改称しました。ちなみに会津若松市の会津図書館は明治37年(1904)、山形県米沢市の米沢図書館は明治42年(1909)の開館です。

## 100年前を知る本

- 『喜多方市史』第3巻 近代・現代 通史編Ⅲ 喜多方市史編纂委員会 (L216-キ)  
第10巻 文化 各論編Ⅲ 喜多方市史編纂委員会 (L216-キ)  
『図説 喜多方の歴史 喜多方市史別巻Ⅰ』喜多方市史編纂委員会／編 2004 (L216キ-11)  
『磐越西線の100年』瀬古龍雄・小桧山六郎／監修 2000 郷土出版社(L686-バ)  
『100年前の女の子』船曳由美／著 2010 講談社 (28-フ)  
『明治大正家庭史年表1868→1925』下川 耿史／編 2000 河出書房新社(R210-メ)



観光コンシェルジュの

# 喜多方再発見

～人物編～

儒者

そえかわ 添川

かんぺい 完平

れんさい (廉斎)



肖像画

(出典：『図説喜多方の歴史』)

一庶民から身をおこして安中藩(群馬県)の儒者として賓師に招かれ、安中の三儒の一人といわれた添川完平(廉斎)は、享和3年(1803)小荒井村(喜多方市寺町)で染め物を兼業とする農家に生まれました。幼いころより学問を好み、徒弟に出されても読書に明け暮れ仕事に身が入らない有様に、親は家業を継がせることを断念し武家屋敷奉公に出しました。主人の軍事奉行・広川庄助はその向学心を愛で、

江戸に伴って古賀穀堂の門に入れて学ばせました。

## 今話題の

### アノ人物にも教えた！？

天保12年(1841)39歳の時、篠崎小竹の紹介で

安中藩主板倉勝昭に会い、藩政の進展に貢献することが大であったと言われています。

七五三太と名乗っていた幼いころの新島襄なども、廉斎の教えを受けた一人です。

安政5年(1858)、江戸の安中藩中屋敷にて病気で亡くなりました。56歳でした。

## 行ってみませんか？ 愛宕神社境内の顕彰碑



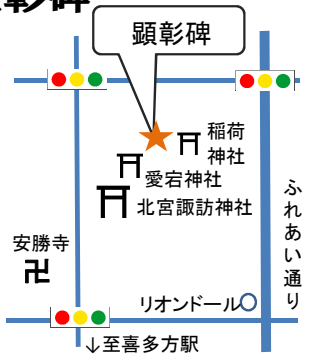
喜多方出身の大学者の徳を称えるため、地元有志の手により昭和10年(1935)12月に建立されました。  
(喜多方市寺町 稲荷神社西)

### 【参考文献】

『図説喜多方の歴史 喜多方市史別巻Ⅰ』

喜多方市史編纂委員会／編集 2004・3 (L216-キ)

『さくばみち』 さくばみち編集部／編集 1978・12 (L387-サ)



## 新 館長よりご挨拶

喜多方市立図書館は、館長が変わり4月のスタートを切りました。今まで以上により良い図書館作りをしていきます。さまざまなご意見を今後もお気軽にお寄せください。

今年100年を迎えた喜多方市立図書館。今までの重みを受け止めながら、スタッフ一同気を引き締め、これからも皆様に愛され続ける図書館でいる所存です。また、記念事業も企画しております。随時、ご案内していきますので楽しみに。

### 【編集後記】

新しい年度が始まりました。2013年は喜多方市立図書館にとっても記念すべき年となります。現在の図書館建物は、41年前の5月22日に開館しました。そしてナン十年後、私も同じ日に誕生！喜多方市立図書館に運命を感じながら日々お仕事しています。(E.Y) 長くて雪の多い冬でしたね。春の訪れがことさらに嬉しく感じられます。今年はい津五桜を巡ってみたいと思っています。(A.S)

